

試験研究成果普及情報

部門	病虫害	対象	普及
課題名：花き類病害の双方向型診断・防除システムの開発及び公開			
〔要約〕花き生産者及び研究指導機関が利用可能なウェブサイトとして「花き類病害の診断・防除」を作成、公開した。極端に情報の少ない花き類病害の診断・防除のシステムとして、現場指導上の有用なツールとなる。また、分子診断手法を併用して県内花きで新たに49病害を発見した。			
キーワード 花き、病害、診断、ウェブサイト、図鑑			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・暖地園芸研究所・環境研究室 協力機関 (独) 農研機構花き研究所、北海道花野セ、青森農総セ、山形庄内農普産地研、山形農総セ、東京農総セ、静岡農技研、岐阜大・流域圏、大阪環境農総研、福岡農総試		
実施期間	2006年度～2008年度		

〔目的及び背景〕

花き類は多品目が生産されているため不明な病害が多く発生し、生産現場では対応に苦慮しており、花き類病害の診断・防除対策の確立が求められている。そこで、(独)花き研究所を中心に、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「花き類病害の双方向型総合診断・防除システムの開発及び公開」に取り組み、各都道府県等で蓄積されてきた病害データを総合し、花き類病害全般に関わる大規模データベースを作成する。また、花き類に発生する多数の未同定病害を分子診断の手法を用いて大量一括同定する。

〔成果内容〕

- 1 (独)農研機構花き研究所を中心に、「花き類病害の診断・防除」のHPを作成した。本サイトは草花、緑化植物、花木等の花き類病害専門のウェブサイトであり、比較的新しく報告された病害を中心に既知病害を含めて図鑑的に掲載しており、無料で利用できる。
 - (1) 検索は植物名、植物科名、病名、病原菌名及びキーワード検索(任意)より構成され、候補となる病害のサムネイル画面が示される(図2)。
 - (2) 各病害のシートには病徴写真、発病時期、顕微鏡写真、防除法(一部)等を解説している(図1)。
 - (3) 平成20年11月11日現在で68科、161植物、449病害、1380写真のデータを取りまとめた。
- 2 本ウェブサイトを通じて、(独)農研機構花き研究所が診断依頼を受け付ける。なお、依頼は普及指導員や営農指導員等の指導者からを想定している。

3 本ウェブサイトは花き研究所のホームページが入り口となる。

<http://flower.naro.affrc.go.jp/> 「花き病害図鑑」

4 千葉県では、分子診断手法を併用して、ストックの *Pythium jasmonium* による苗腐病 (図 3)、キンセンカ・バラ・チューリップに病害をおこす疫病菌 3 種の新種 4 種を含む 49 病害を発見した。

[留意事項]

掲載数は平成 21 年 1 月末時点で 449 病害であり、増補している。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

HP のアクセス数 14,145 (平成 21 年 10 月 22 日現在)

[成果の概要]



The screenshot shows a webpage titled "花き類病害の診断・防除" (Diagnosis and Prevention of Flower Diseases). The page is for "モザイク病 (モザイクビヨウ) Mosaic (ウイルス)". It lists the plant as "トルコギキョウ (ユーストマ) リンドウ科 Eustoma grandiflorum" and the pathogen as "Broad bean wilt faba virus (BBWV)". There are two photographs: one showing "BBWVによる葉のラインパターン" (Line pattern on leaves caused by BBWV) and another showing "BBWVによる萎縮症状" (Wilt symptoms caused by BBWV). Below the photos is a table with details on symptoms, occurrence, and control methods.

病徴	葉にアザミ葉状の特徴あるラインパターンを生じ、生育が抑制される。
発生時期	生育期
発生場所	施設
防除法	1. アブラムシ類によって媒介されるので、これらの防除を徹底する。2. 施設開口部には防虫ネットを展開し、媒介虫の侵入を防止する。3. シルバーマルチなど光反射資材で媒介虫の飛来を抑制する。4. 管理器具の消毒。5. 発病株の早急な撤去。6. 感染が疑われる株は管理作業を最後に行う。
備考	アブラムシ類によって伝搬される。
文献	(1) Bean yellow mosaic virus 竹内繁治・古谷真二(1992): 日植病報 58(4):616, (2) Broad bean wilt virus 岩木満朗ら(1985): 日植病報 51(3):355

杉山博 (フラワーセアおもり)
更新日: 2008/11/20

図 1 「花き類病害・診断」サイトのページ (例)



図2 病害一覧(例)



図3 ストック苗腐病

育苗中の発病状況と、新種の病原菌 *Pythium jasmonium* の卵胞子(右下)

[発表及び関連文献]

- 1 「花き類病害の診断・防除」、(独)花き研究所 HP、
- 2 平成19年度試験研究成果普及情報「カーネーション等の萎凋細菌病菌 *Burkholderia caryophylli* の新選択培地」
- 3 A new selective medium for *Burkholderia caryophylli*, the causal agent of carnation bacterial wilt. *Plant Pathology*. 58(2). 2009.
- 4 平成21年度試験研究成果発表会(花植木部門)

[その他]